

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7616687号
(P7616687)

(45)発行日 令和7年1月17日(2025.1.17)

(24)登録日 令和7年1月8日(2025.1.8)

(51)国際特許分類 F I
B 6 5 D 85/50 (2006.01) B 6 5 D 85/50 2 0 0

請求項の数 5 (全9頁)

| | | | |
|----------|-----------------------------|----------|--|
| (21)出願番号 | 特願2022-118533(P2022-118533) | (73)特許権者 | 510284026 株式会社ユ－花園 東京都世田谷区桜新町2-12-22 |
| (22)出願日 | 令和4年7月26日(2022.7.26) | (74)代理人 | 100074251 弁理士 原田 寛 |
| (65)公開番号 | 特開2024-16423(P2024-16423A) | (74)代理人 | 100066223 弁理士 中村 政美 |
| (43)公開日 | 令和6年2月7日(2024.2.7) | (72)発明者 | 高橋 秀治 東京都世田谷区桜新町2-12-22 株式会社ユ－花園内 |
| 審査請求日 | 令和6年3月19日(2024.3.19) | (72)発明者 | 内村 晶子 東京都世田谷区桜新町2-12-22 株式会社ユ－花園内 |
| | | (72)発明者 | 長田 太地 東京都世田谷区桜新町2-12-22 |

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 生花包装容器兼花立台

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

周囲壁が筒方向に沿う折線によって内方に窄み状に折り込み可能になっている筒状の容器本体と、生花を収納した状態で容器本体の下部内に着脱自在に固定される生花支持台と、容器本体の上部内に着脱自在に固定される花立土台とを備えて成り、生花支持台、花立土台それぞれは、周囲壁が二重構造となっていて、外法幅員は容器本体の内法幅員に対応しており、内法幅員は周囲壁を窄ませた容器本体の開口部分の外法幅員に対応させてあると共に、生花支持台は容器本体の上部開口に被せられて配置され、花立土台は容器本体の下部開口にあてがわれて容器本体を支持立脚させるようにしてあることを特徴とする生花包装容器兼花立台。

【請求項2】

生花支持台は、上側壁の周囲に二重に折り込み形成した支持周囲壁を下方に連設した下部開放の浅底逆ボックス状に形成された支持台本体と、上部開放の筒状に形成されていて、支持台本体の上側壁に差込み折曲して固定する連結片を有する生花収納体とを備えて成る請求項1に記載の生花包装容器兼花立台。

【請求項3】

花立土台は、上方開放の浅底ボックス状に形成されていて、底側壁の周囲に二重に折り込み形成した土台周囲壁を上方に連設して成る請求項1に記載の生花包装容器兼花立台。

【請求項4】

容器本体の下部には、容器本体内に収納位置決めした生花支持台を支持固定する下部支

持部を設けてある請求項 1 に記載の生花包装容器兼花立台。

【請求項 5】

容器本体の上部には、容器本体内に収納する花立土台を載置させて支持固定する上部支持部を設けてある請求項 1 に記載の生花包装容器兼花立台。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、例えば生花等を送付、搬送するとき等に梱包するに際し、その梱包容器をそのまま利用して花立台としても使用可能にした生花包装容器兼花立台に関する。

【背景技術】

【0002】

従来から、生花等を送付、搬送するには、生花をそのまま封入し梱包する各種の梱包容器が使用されており、梱包容器内で生花等がガタつかないように支持材によって支持固定されている。ただ、この梱包容器は、生花を取り出し、飾った後には、そのまま廃棄されており、再利用されることはない。すなわち、例えば生花店では配達先で生花を飾った後は、その梱包資材を回収しても廃棄せざるを得ないばかりでなく、生花を飾るとしたら花立台を別に用意する必要があり、しかも飾る期間が過ぎた後にはその花立台を回収する手間が掛かっており、いずれにしてもこれらの作業は生花店には大きな負担となっている。

【0003】

こうした点から、従来、例えば特許文献 1 に示される飾り台兼用ダンボールケースが提案されている。この特許文献 1 のダンボールケースは、飾り物支え板によって支持した生花を封入した角筒状のケース本体を構成しておき、搬送後では、相互に交差組み合わせた支持脚部上にケース本体を支持すると共に、ケース本体の上部に支持部を介して支持させた飾り物支え板によって生花を支持することで、生花を飾ることができるようになっている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【文献】登録実用新案 25769195 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

この特許文献 1 に示される飾り台兼用ダンボールケースは、ケース本体内に生花を梱包封入することで搬送等をして、搬送後でケース本体とは別に用意された支持脚部でケース本体を支持立脚し、同じく別に用意された支持部によって飾り物支え板を支持としている。そうすると、搬送後で生花等を飾る場合、搬送されたケース本体とは別に支持脚部、支持部を用意しなければならないから、面倒であり、また実際的ではない。

【0006】

そこで本発明は叙上のような従来存した諸事情に鑑み創出されたもので、生花等を支持封入している容器本体、この容器本体内で生花を収納支持している生花支持台、花立土台等をそのまま使用して花立台として構成でき、しかもこれら以外の他の部材を必要とせず

【課題を解決するための手段】

【0007】

上述した課題を解決するため、本発明にあっては、周囲壁が筒方向に沿う折線 7 によって内方に窄み状に折り込み可能になっている筒状の容器本体 1 と、生花 F を収納した状態で容器本体 1 の下部内に着脱自在に固定される生花支持台 10 と、容器本体 1 の上部内に着脱自在に固定される花立土台 20 とを備えて成ることを特徴とする。

生花支持台 10、花立土台 20 それぞれは、周囲壁が二重構造となっていて、外法幅員は容器本体 1 の内法幅員に対応しており、内法幅員は周囲壁を窄ませた容器本体 1 の開口部分の外法幅員に対応させてあると共に、生花支持台 10 は容器本体 1 の上部開口に被せ

10

20

30

40

50

られて配置され、花立土台 20 は容器本体 1 の下部開口にあてがわれて容器本体 1 を支持立脚させるようにして構成することができる。

生花支持台 10 は、上側壁 12 の周囲に二重に折り込み形成した支持周囲壁 14 を下方に連設した下部開放の浅底逆ボックス状に形成された支持台本体 11 と、上部開放の筒状に形成されていて、支持台本体 11 の上側壁 12 に差込み折曲して固定する連結片 17 を有する生花収納体 15 とを備えて構成することができる。

花立土台 20 は、上方開放の浅底ボックス状に形成されていて、底側壁 21 の周囲に二重に折り込み形成した土台周囲壁 22 を上方に連設して構成することができる。

容器本体 1 の下部には、容器本体 1 内に収納位置決めした生花支持台 10 を支持固定する下部支持部 4 を設けて構成することができる。

容器本体 1 の上部には、容器本体 1 内に収納する花立土台 20 を載置させて支持固定する上部支持部 5 を設けて構成することができる。

【0008】

以上のように構成された本発明に係る生花包装容器兼花立台にあって、生花支持体 15 内に生花 F を収納した生花支持台 10 を容器本体 1 の下部に下部支持部 4 によって支持固定させることで生花 F を容器本体 1 内に収納保持させる。また、花立土台 20 を容器本体 1 の上部に上部支持部 5 にて載置させて支持固定させることで、生花 F を収納した容器本体 1 を閉塞させ、容器本体 1 の上下部それぞれを内側から保形させた適宜固定した状態で、送付、搬送を可能にさせる。

送付、搬送先で、容器本体 1 内から取り出した生花支持台 10 は、花立土台 20 内で立脚した容器本体 1 に載置させることで、生花 F をそのまま飾らせる。

生花支持台 10 を取り出した後の容器本体 1 は、周囲壁の折線 7 によって内方に窄ませることで、周囲長を短小にさせ、外法幅員に比し小さくなっている花立土台 20 の土台周囲壁 22、生花支持台 10 の支持周囲壁 14 それぞれの内法幅員の内部に収納させる。

花立土台 20 は、容器本体 1 内から取り出し、飾らせる場所で載置させられ、上方開放状態の土台周囲壁 22 内に窄ませた容器本体 1 を立脚状に収納支持させる。また、生花支持台 10 は、下方開放の花立支持台 10 における支持周囲壁 14 によって、窄ませた容器本体 1 に被せることで、容器本体 1 上に生花支持体 15 内に収納した生花 F をそのまま載置させて飾らせる。

生花支持台 10 は、下方開放の浅底ボックス状の支持台本体 11 の筒状の生花収納体 15 を備えることで、生花 F を飾らせる状態の儘で容器本体 1 内に収納保持させ、送付、搬送先では、その飾らせる状態の儘で容器本体 1 上にセットすればよく、簡単迅速に飾り付け作業を行わせる。

【発明の効果】

【0009】

本発明は以上説明したように構成されているため、飾られる状態で盛られた生花 F を生花支持台 10、花立土台 20 と共に封入梱包させた容器本体 1 にあっては、生花 F の送付、搬送先では生花 F を取り出した後は窄ませることで、花立土台 20 上に立脚支持し、また生花支持台 10 を容器本体 1 上にセットすることで、そのまま花立台として利用できる。生花 F の梱包資材をそのまま花立台として利用できることで、資源の無駄を少なくし、また生花 F を受け取り手によっても特別に面倒な作業を要せずに、例えば生花店で盛り付けた生花 F をそのまま飾ることができる。

【0010】

すなわちこれは本発明において、周囲壁が内方に窄み状に折り込み可能になっている筒状の容器本体 1 と、生花 F を収納した状態で容器本体 1 の下部内に着脱自在に固定される生花支持台 10 と、容器本体 1 の上部内に着脱自在に固定される花立土台 20 とを備えて成るからであり、こうすることで、容器本体 1 等の梱包資材を送付、搬送先では花立台としてそのまま利用でき、生花店、受領者それぞれにおいて無駄を省くことができる。

【0011】

また、浅底ボックス状の支持台本体 11、筒状の生花収納体 15 から成る生花支持台 1

10

20

30

40

50

0 は、例えば生花店で盛りつけて生花収納体 15 に収納した生花 F そのものが収納保持状態で容器本体 1 の下部に支持固定されるのであり、下部に支持されることで送付、搬送時での重量安定性が得られ、生花 F の盛り付け時形態の安定性等に寄与できる。しかも、送付、搬送先では容器本体 1 から取り出したときでも盛り付け形態は維持されているから、取り出した状態の儘で飾ることができる。

【0012】

浅底ボックス状の花立土台 20 は、容器本体 1 の上部に位置固定されることで搬送時等の容器本体 1 の上部開口を閉塞していると共に、容器本体 1 の梱包時の形態安定性を維持でき、搬送先等での容器本体 1 からの取り出し後では容器本体 1 を立脚支持する土台用としてそのまま利用でき、容器本体 1 の立脚状態を維持させる。

10

【0013】

容器本体 1 自体は、筒方向に沿う折線 7 によって自身の内方に折り込み窄められるから、容器本体 1 を立脚させたときには、筒方向に沿って付加される荷重を十分に支持し、しかも容器本体 1 の上下部が外方への拡開傾向にあっても、生花支持台 10 の支持周囲壁 14、花立土台 20 の土台周囲壁 22 によって規制支持されることとも相俟って、支持安定性の向上に大きく寄与する。

【0014】

容器本体 1 の下部に設けた下部支持部 4 では、容器本体 1 に収納した生花支持台 10 を支持固定し、同じく容器本体 1 の上部に設けた上部支持部 5 では、花立土台 20 を載置支持することで、搬送先等で飾るときでの部材を共に封入して運ぶことができる。

20

【0015】

尚、上記の課題を解決するための手段、発明の効果の項それぞれにおいて付記した符号は、図面中に記載した構成各部を示す部分との参照を容易にするために付した。本発明は、これらの記載、図面中の符号等によって示された構造・形状等に限定されない。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図 1】本発明を実施するための一形態を示す分解斜視図である。

【図 2】同じく梱包状態の斜視図である。

【図 3】同じくその要部縦断面図である。

【図 4】同じく花立台として組み立てるときの分解斜視図である。

30

【図 5】同じく組立使用時の斜視図である。

【図 6】同じく組立時の横断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0017】

以下、図面を参照して本発明を実施するための一形態を説明すると、図において示される符号 1 は所定大きさの生花 F を封入梱包するよう、例えば断面が正方形を呈する容器本体であり、この容器本体 1 は、例えば前後左右の側壁から成る角筒状に形成されている。また、それぞれの側壁自体は、高さ方向（筒方向）に沿って側壁それぞれに配されている折線 7 によって内方側に僅かに折り込まれるようにしてある。なお、容器本体 1 は、後述する生花支持台 10、花立土台 20 等を含め、例えば適宜肉厚のダンボール原紙によって形成されている。

40

【0018】

この容器本体 1 における上下の開口部分は、上部蓋板 2、下部蓋板 3 によって開口部分が閉塞されるようになっていて、開口部分に上部蓋板 2、下部蓋板 3 それぞれを施蓋した状態で容器本体 1 の前後面、左右面の上下方向に沿って巻回される紐材 6 によって縛結されるようにしてある。

【0019】

そして、この容器本体 1 内の下部には、生花支持台 10 が着脱自在に支持固定されている。この生花支持台 10 は、上側壁 12 の周囲に二重に折り込み形成した支持周囲壁 14 を下方に連設した下部開放の浅底逆ボックス状に形成された支持台本体 11 と、上部開放

50

の例えば角筒状に形成されていて、支持台本体 1 1 の上側壁 1 2 に差込み折曲して固定する連結片 1 7 を有する生花収納体 1 5 とを備える。なお、支持周囲壁 1 4 の二重壁構造は、上側壁 1 2 の周縁から延設した延設部分を適宜幅員の辺縁壁部分を介して折返し、上側壁 1 2 の周縁内側で適宜固定することで形成される空隙構造のものとなっている。

【 0 0 2 0 】

支持台本体 1 1 は、支持周囲壁 1 4 の外法幅員は容器本体 1 における内法幅員にほぼ対応しており、支持周囲壁 1 4 の内法幅員は、二重構造となっている支持周囲壁 1 4 における厚み分に相当する分で小さくなっている幅員を有する。二重構造となっていることで支持台本体 1 1 自体を堅牢にしていると共に、小さくなっている内法幅員内に、後述するように前記折線 7 にて折り込まれ窄ませられた容器本体 1 に被せることで、容器本体 1 によ

10

【 0 0 2 1 】

支持台本体 1 1 の上側壁 1 2 には、この上側壁 1 2 上に載置セットされる生花収納体 1 5 の囲繞壁 1 6 位置に合致させてスリット状の差込連結孔 1 3 が開穿されていて、生花収納体 1 5 の囲繞壁 1 6 の下端から連設されている前記連結片 1 7 を差込連結孔 1 3 に強制的に差込み、その突出部分を上側壁 1 2 の下面で折曲することで、生花収納体 1 5 を支持台本体 1 1 にしっかりと固定できるようにしている（図 3 参照）。図示にあっては、平面矩形形状の生花収納体 1 5 の四隅に配した連結片 1 7 を折曲方向をそれぞれ異ならしめて差込連結孔 1 3 に差込みされるようにしている。

【 0 0 2 2 】

こうして形成された生花支持台 1 0 における生花収納体 1 5 内に、例えば漏出防止処理が基部に施された生花 F が挿入固定されるのであり、生花 F 自体は例えば湿潤されている合成樹脂製のいわゆるフローラルフォームに活けた状態のものとしてある。

20

【 0 0 2 3 】

また、この生花支持台 1 0 は、容器本体 1 内の下部における角隅部で内方に L 字状に折り込み形成した下部支持部 4 が上面に押し当てられることで、容器本体 1 の下方の開口部分を閉塞する下部蓋板 3 との間で挟み込まれるようになって固定されるようにしてある。

【 0 0 2 4 】

容器本体 1 の上部には、花立土台 2 0 が収納保持されている。この花立土台 2 0 は、前記支持台本体 1 1 とほぼ同構造となる上方開放の浅底ボックス状に形成されていて、底側壁 2 1 の周囲に二重に折り込み形成した土台周囲壁 2 2 を上方に連設して成る。すなわち、土台周囲壁 2 2 の外法幅員は容器本体 1 における内法幅員にほぼ対応しており、土台周囲壁 2 2 の内法幅員は、二重構造となっている土台周囲壁 2 2 における厚み分に相当する分で小さくなっている幅員を有する。二重構造となっていることで花立土台 2 0 自体を堅牢にしていると共に、小さくなっている内法幅員内に、後述するように前記折線にて折り込み窄ませられた容器本体 1 を載置させて収納支持できるようにしている。

30

【 0 0 2 5 】

また、この花立土台 2 0 は、容器本体 1 内の上部における角隅部で内方に L 字状に折り込み形成した上部支持部 5 に載せられることで、容器本体 1 の上方の開口部分を閉塞する上部蓋板 2 との間で挟み込まれるようになって支持されるようにしてある。こうすることで、花立土台 2 0 は、容器本体 1 の上部内にしっかりと収納配置されていることになり、容器本体 1 の上部に付加される外部からの衝撃その他に対しての容器本体 1 内部の保護機能も発揮させる利点も得られる。

40

【 0 0 2 6 】

なお、図示にあっての容器本体 1 は平面から見てほぼ正方形に形成されていることで、生花支持台 1 0、花立土台 2 0 等も平面から見て正方形に形成されている。もとより、容器本体 1 の平面形状が例えば長方形、三角形、その他の多角形状、円形状等に形成される場合もあり、これに対応して生花支持台 1 0、花立土台 2 0 も同様な平面形状に形成される。

【 0 0 2 7 】

50

これによって生花 F を封入梱包する場合を説明すると、先ず、囲繞壁 1 6 を連結片 1 7 によって支持台本体 1 1 に連結固定して生花支持台 1 0 を組み立てておき、盛り付けられた生花 F を囲繞壁 1 6 内に収納する。そして、図 1 に示すように、生花 F を収納した生花支持台 1 0 を下部蓋板 3 上に載置し、生花 F を覆うように上方から容器本体 1 を被せ、下部支持部 4 によって生花支持台 1 0 における支持台本体 1 1 を押さえるように固定する。次いで、花立土台 2 0 を容器本体 1 の上部内に上部支持部 5 によって支持収納し、花立土台 2 0 を覆うように上部蓋板 2 を被せ、容器本体 1 の上部開口部を閉塞する。その後、容器本体 1 を上下部の蓋板 2 , 3 と共に紐材 6 によって縛結し、送付、搬送可能な状態にする（図 2 参照）。

【 0 0 2 8 】

送付、搬送先においては、容器本体 1 を開放して取り出した生花 F を、容器本体 1、花立土台 2 0、生花支持台 1 0 等を組み立てて構成した花立土台によって生花 F を飾るものとしている。すなわち、開放された容器本体 1 から花立土台 2 0 を取り出し、容器本体 1 を取り外して表れた、生花 F が収納されている生花支持台 1 0 を一旦は取り除き、花立土台 2 0 を生花 F の飾り場所に載置セットする。次いで、図 4 乃至図 6 に示すように、容器本体 1 自体の周囲側壁を前記折線 7 によって内方側に窄ませるよう僅かに折り込み、容器本体 1 が立脚状になるように花立土台 2 0 における土台周囲壁 2 2 内に挿入する。その後、生花支持台 1 0 自体を容器本体 1 の上部に、支持台本体 1 1 で被せるようにしてセットすることで、生花 F を飾る。

【 0 0 2 9 】

こうすることで、周囲壁が内方に窄まり状である中空筒状の容器本体 1 の上下が花立土台 2 0、生花支持台 1 0 によって覆われることで閉塞されて成る所定高さの花立土台構成となり、しかも、生花支持台 1 0 に梱包時で収納された状態の儘の生花 F をそのまま飾ることができる（図 5 参照）。

【 0 0 3 0 】

なお、花立土台として飾られることを考慮して、生花支持台 1 0 の囲繞壁 1 6、容器本体 1 の外表面等に飾られる場所にふさわしい適宜な表示を施しておくことも可能であると共に、花立土台 2 0 自体、生花支持台 1 0 自体等を例えば黒色等の彩色を施すことも可能であり、飾られる場所における雰囲気醸成させるようにもできる。

【 符号の説明 】

【 0 0 3 1 】

- F ... 生花
- 1 ... 容器本体
- 2 ... 上部蓋板
- 3 ... 下部蓋板
- 4 ... 下部支持部
- 5 ... 上部支持部
- 6 ... 紐材
- 7 ... 折線
- 1 0 ... 生花支持台
- 1 1 ... 支持台本体
- 1 2 ... 上側壁
- 1 3 ... 差込連結孔
- 1 4 ... 支持周囲壁
- 1 5 ... 生花収納体
- 1 6 ... 囲繞壁
- 1 7 ... 連結片
- 2 0 ... 花立土台
- 2 1 ... 底側壁
- 2 2 ... 土台周囲壁

10

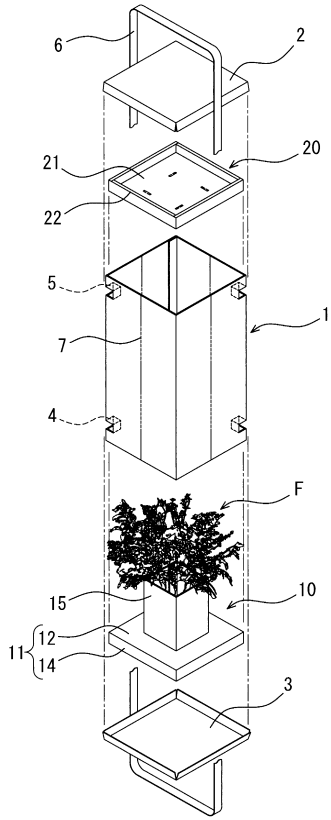
20

30

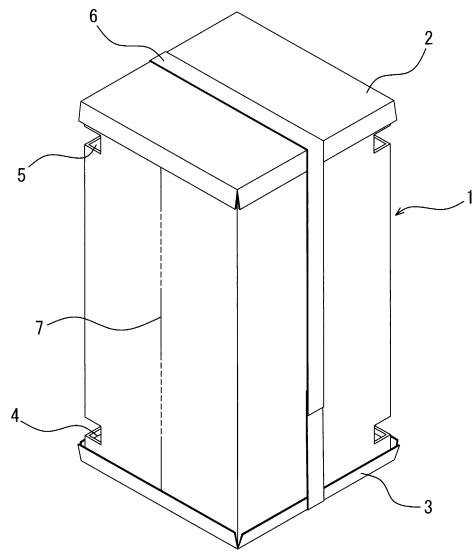
40

50

【図面】
【図 1】



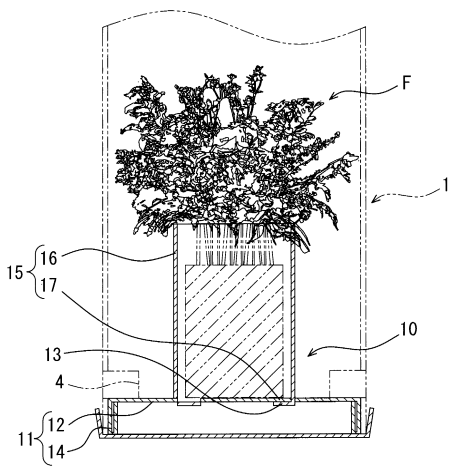
【図 2】



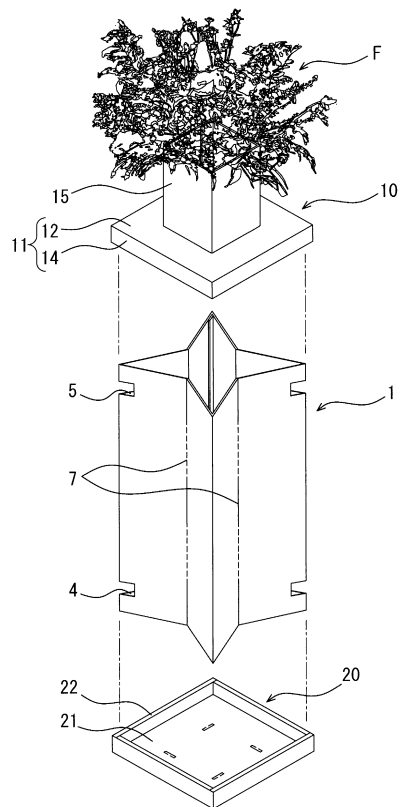
10

20

【図 3】



【図 4】

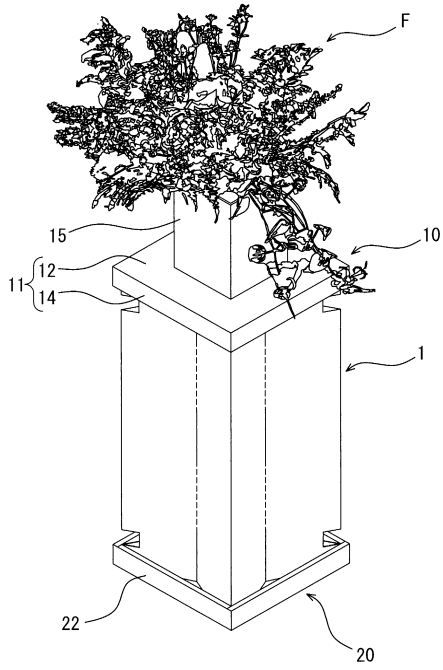


30

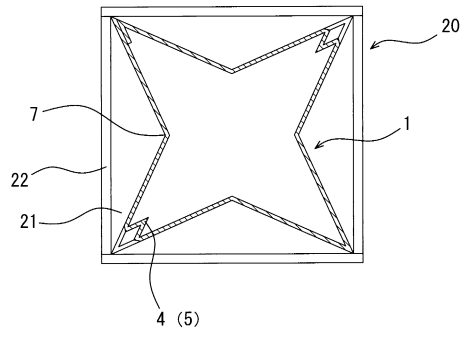
40

50

【 図 5 】



【 図 6 】



10

20

30

40

50

フロントページの続き

- 株式会社ユーガーデン内
- (72)発明者 田代 剛
東京都世田谷区桜新町 2 - 1 2 - 2 2 株式会社ユーガーデン内
- (72)発明者 池上 淳
東京都世田谷区桜新町 2 - 1 2 - 2 2 株式会社ユーガーデン内
- 審査官 杉田 剛謙
- (56)参考文献 実開平 0 5 - 0 8 2 8 2 4 (J P , U)
特開 2 0 0 2 - 3 0 8 2 5 3 (J P , A)
特開昭 6 3 - 0 2 2 3 4 3 (J P , A)
米国特許第 0 3 9 2 4 3 5 4 (U S , A)
特開 2 0 0 3 - 0 1 2 0 7 7 (J P , A)
登録実用新案第 3 0 7 2 4 7 8 (J P , U)
国際公開第 9 9 / 0 5 7 0 4 0 (W O , A 1)
米国特許第 0 8 9 8 5 3 2 9 (U S , B 2)
韓国公開特許第 2 0 0 4 - 0 0 5 4 1 9 5 (K R , A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
B 6 5 D 8 5 / 5 0